

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

公明党

公明党として、3月議会定例会における令和5年度一般会計予算及び提出された議案について慎重に審議を行い、賛成させていただきました。令和5年度予算では、子育て支援医療や産後ケアの拡充など、公明党が訴え続けている、安心して子どもを産み育てられる環境を充実させるための妊娠期からの切れ目のない子育て支援、経済的な負担の軽減など、子育て支援策が具体化される内容であり高く評価させていただきました。

さらには、長岡第四小学校の再整備、小中学校特別教室の空調新設工事など子どもたちが安心して学習できる環境整備や、防災施設の整備・充実や雨水対策など防災機能の向上による安心安全のまちづくり、安心して使い続けられる公共施設としての長寿命化など、便利で安心なまちづくりを目指す内容になっています。令和5年度は、第4次総合計画第2期基本計画後期実施計画の初年度であり、新たなニーズを踏まえつつ、長岡京市の発展に努めて参ります。公明党は、常に生活者目線で市民に寄り添いながら働いて参ります。

平成西山クラブ

新型コロナウイルス感染症という言葉を知ってから四年目を迎え、私たちは平常というものを徐々に取り戻すことができるようになりました。市制51年目の予算編成の柱の一つは「市民が主体」「進化するまちづくり」の本格始動」と位置付けられました。「助け合いとつながりのまちづくり条例」「中小企業振興基本条例」「文化財保存活用地域計画」「2050年ゼロカーボンシティ宣言」これら4つの柱はいずれも、我

々が先人から受け継ぎ更に次世代へ繋ぎたいと願う「このまち」への思いです。デジタル技術の活用が当たり前の社会となり、さらに進化していく中で、人々の利便性が高まり、活力のあるまちづくりが進んでいくことが期待されております。子どもたちに誇れる50年後の未来をどのように見据え、5年後や10年後の本市の課題について考え、対応していくことが我々に求められた務めです。中小路市政3期目のスタートに、総合計画の推進と公約の実現を要望し、令和5年度予算に賛成しました。上村真造・白石多津子・田村直義

会派とは、同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは3月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。



平成自民クラブ

令和五年度予算は子育て支援医療、産後ケア事業、小中学校施設更新・整備等の子育て・教育分野に重点をおき、また阪急長岡天神駅周辺整備検討の推進等の都市環境整備、さらに自治振興、中小企業振興、文化財保存活用、脱炭素社会に向けた取り組み等を予算計上し、可決しました。

デジタル化の推進に関しては、市民の利便性向上と行政サービスの合理化を図るため、ICT活用によるデジタルトランスフォーメーションを推進し、市公式LINEを通じて申請・予約ができる手続きを順次拡充することとした。

市制50年を経て未来を描き紡ぐ展開について、魅力ある長岡京の発信や安心安全な防災の備えに関して質し、現場感覚を大切にしつつ、次のゴールを定め進めると答弁を得ました。文化財保存活用地域計画に関しては、長岡京市ふるさと資料館を新庁舎内に整備すると答弁を得ました。

今後市民の安全安心はもとより、豊かな暮らし、未来に向けたまちづくりに取り組んで参ります。

八木浩・中小路貴司・三木常照

日本共産党

物価高・コロナに向き合う予算を

コロナが「5類」となりましたが、ウイルスは最多の死者を出した第8波と変わったわけではなく、今後も感染対策が必要です。しかし市は福祉事業所への感染対策補助金を廃止現場にいつそう負担がかかります。

物価高について市長は「価格転嫁と賃上げを前提として、デフレ脱却につながる機会」と述べました。ただ中小事業者では価格転嫁も賃上げも進んでおらず、下支えが必要です。

しかし22年度補正予算で市は、税収等が大きく伸びた分を、「公共施設整備基金」を創設して5億円積み立てました。23年度当初予算でも、物価高に苦しむ市民や事業者を支える新たな施策が欠けています。

市民や事業者の実態をつかみ支援を強めること、市自ら非正規労働者の賃上げを行うことを求めました。

保育所の入所保留が増えています。入所希望の伸びに保育所整備計画が追いついておらず改善を求めました。「防衛費2倍」方針の撤回を求める意見書や、保育基準見直しを求める意見書を提案し、可決しました。

輝（かがやき）

3月定例会では、1月の補欠選挙において当選された干場議員を会派に迎え入れ、5人で活動をスタートした議会となりました。

また、第14号議案の「令和五年度長岡京市一般会計予算」において、長岡京市が都市間競争の中で、これからも住み手に選ばれるまちとなるよう願い、賛成いたしました。

一般質問では、5人全員が登壇しそれぞれ課題と考えている事に対して質問を行いました。

そして、予算審査常任委員会総括質疑では、質疑順で宮小路議員・大伴議員・進藤議員が質疑を行い、議論を深める事が出来ました。

私たち「輝」の議員は、一般質問や委員会質疑において、市政課題について、行政側に意見反映を行い、市民が更に活躍し輝くまちを目指し邁進してまいりますので、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

進藤裕之・富田達也
宮小路康文・大伴望
干場志都恵

ふえいすぶっく 長岡京市議会公式 Facebook



Facebookページ「京都府長岡京市議会」では、さまざまな議会の情報を発信し、適宜更新しております。

Facebookのアカウントをお持ちの方は、今後ともどんどん「いいね!」「フォロー」「シェア」をお願いします。

Facebookのアカウントを持っていなくても閲覧できます！ぜひ一度、ご覧ください！

☎ QRコードからチェック！

